

**平成 27 年度当初予算
主な事業の概要**



茨城県 古河市

目 次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり…………… | 1 |
| 2. 互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり…………… | 3 |
| 3. 健やかな市民と文化を育む“人”づくり…………… | 6 |
| 4. 活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり…………… | 10 |
| 5. 自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり…………… | 12 |
| 6. 未来を見据えた都市の“基盤”づくり…………… | 14 |

コミュニティ・行政

1. 市民主体の行政とみんなで作る“地域”づくり

予算額（単位：千円）

（１）合併10周年記念特別事業

新規

26,500

合併10周年を記念する事業を実施します。

○主な事業 合併10周年記念式典、記念企画展、ご当地商品開発等

合併10周年記念特別事業《企画課》

（２）第2次総合計画の策定

9,398

社会変化に対応した今後のまちづくりの基本となる第2次総合計画を「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性を図りつつ策定します。

第2次総合計画（基本計画）策定事業《企画課》

（３）広報・お知らせ版の充実

25,317

広報紙がさらに読みやすくなるよう、内容の充実を図るとともに、親しみの持てる紙面づくりに努めます。

広報・お知らせ版発行事業《秘書広報課》

（４）市ホームページの充実

5,164

ホームページの特性を生かした情報発信を行います。あわせて、情報の分類を工夫するなど、さらに使いやすいサイトになるように努め内容の充実を図ります。

インターネット広報事業《秘書広報課》

（５）国際交流のまちづくりの推進

4,010

国際情勢の動向を見ながら、国際友好交流都市である中国河北省三河市との交流を図ります。また、在住外国人が安心して暮らせる環境を作るため、日本語教室や交流会を実施する国際交流団体の活動を支援します。

国際交流のまちづくり推進事業《企画課》

（６）姉妹都市交流の推進

4,394

姉妹都市である福井県大野市、山形県真室川町、栃木県さくら市と連携し、産業・文化・スポーツ・教育など様々な分野での交流を推進します。また、古河市合併10周年を記念して、大野市民を古河市へ招待し、体験等を通して市民交流を図ります。

姉妹都市交流推進事業《企画課》

(7) 古河青年企画提案活動への助成

拡充

810

青年の柔軟な発想による地域の活性化につながる活動に対して支援を行い、活力あるまちづくりを推進します。

古河青年企画提案事業《企画課》

(8) 地域づくり活動の支援

157,060

市民が主体となった住民自治のまちづくりの推進に向けて、自治組織に対する財政的支援を行います。

○支援の内容

自治組織運営交付金、地域づくり活動支援事業補助金、自治会行政区集会施設補助金
自治組織運営事業《市民協働課》

(9) コミュニティ活動の育成・強化

15,074

コミュニティ活動の活性化を図るため、地区コミュニティに財政的な支援を行います。また、地区コミュニティの未設立地区には、意見交換や座談会を行い、設立に向けた意識の啓発を行い、地域の実情にあったコミュニティ活動の推進ができるよう各団体への支援を行います。

コミュニティ推進事業《市民協働課》

福祉健康

2. 互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり

予算額（単位：千円）

(1) 古河市子ども・子育て支援財団への支援 **新規** 7,673

子育て支援施策の更なる充実を図ることを目的とした「一般財団法人古河市子ども・子育て支援財団」の活動に対して支援を行います。

子育て支援団体活動支援事業 《子育て対策課》

(2) 子育て支援の拠点構想の策定 **新規** 40,318

古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」として位置づけ、今後の施設整備の基本構想を策定します。これに伴い、まず、老朽化した上辺見保育所の整備に着手し、平成27年度は、実施設計を行います。

保育総務事業 《子育て対策課》

上辺見保育所施設整備事業 《子育て対策課》

(3) 子ども・子育て支援の充実 **拡充** 3,088,935

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現をめざして、平成27年4月から、子ども・子育て支援新制度がスタートします。幼児期の教育・保育、子育て支援のニーズを把握し、認定こども園・幼稚園・保育所などの整備を計画的に進めます。

○事業の内容

- ・特定教育、保育施設への扶助
- ・認定こども園への移行に伴う施設整備補助

子ども・子育て支援新制度事業 《子育て対策課》

(4) 児童クラブ施設の充実 **拡充** 51,824

子どもたちが児童クラブへ通う際の安全性と、クラブの統合・安定した運営を図るため、小学校の空き教室等を児童クラブとして整備し、放課後児童対策の推進を図ります。平成27年度は、古河第一小、第四小、上辺見小、名崎小の児童クラブの整備を進めます。

○整備スケジュール

平成27年度 古河第四小児童クラブ（整備工事）

古河第一小・上辺見小・名崎小児童クラブ（実施設計等）

平成28年度 古河第一小・上辺見小・名崎小児童クラブ（整備工事）

古河第一小学校児童クラブ施設整備事業 《子育て対策課》

古河第四小学校児童クラブ施設整備事業 《子育て対策課》

上辺見小学校児童クラブ施設整備事業 《子育て対策課》

名崎小学校児童クラブ施設整備事業 《子育て対策課》

(5) 子育て環境の充実

拡充

64,651

親子の交流、保護者間の交流を促進するため、古河総合公園内に「子育て広場」を設置します。平成27年度は建設工事を行い、年度内の運用開始をめざします。

子育て広場設置事業《子育て対策課》

(6) 障害児支援の強化

拡充

17,018

児童発達支援センターを設置し、専門スタッフを配置することで、発達に偏りがある就学前の児童とその親に対して、専門的な支援や相談を行います。また、児童が通う保育園等に専門スタッフを派遣し、集団生活での適応支援を行います。近隣の関係機関とも連携を図り、地域全体で児童発達支援ができる体制強化を図ります。

児童発達支援事業《健康づくり課》

(7) 不妊治療費の助成

新規

8,982

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）に係る経済的負担の軽減を図るため、その治療費の一部を助成（上限5万円）します（県の不妊治療費助成制度に準じた形で実施します）。

不妊治療費助成事業《健康づくり課》

(8) 小児用インフルエンザ予防接種の助成

新規

23,310

子育て支援とインフルエンザ流行時の病気の蔓延を防止するため、生後6か月から18歳までの人を対象に、インフルエンザワクチン予防接種料の一部（1,000円）を助成します。

小児用インフルエンザワクチン接種事業《健康づくり課》

(9) 20歳までの医療費助成の拡大

拡充

128,630

茨城県の医療福祉費支給制度（マル福）の対象外となる小学生から18歳までの人に対し、古河市独自の医療費助成制度（マル古）で医療費の一部助成を継続実施するとともに、平成27年度は、6月1日から新たに20歳までの学生に限り、医療費の一部助成を拡大（所得制限あり）し、子育てにかかる経済的負担の軽減を図ります。

医療費助成（市単）事業《国保年金課》

(10) 出産子育て奨励金の支給

44,000

多子家庭の経済的負担の軽減を図り、少子化対策に寄与するため、第3子以上を出産した母またはその児童の父に対し、対象児童1人につき30万円を0歳時、1歳時、2歳時の3回に分けて支給します。

出産子育て奨励金支給事業《子育て応援課》

(11) 出産時の経済的支援 **22,025**

少子化対策のなかの子育て支援の一つとして、次世代を担う児童の誕生を市全体で祝福するとともに、対象児童1人につき2万円を支給し、出産時の経済的支援を行います。

出産御祝金事業《市民課》

(12) 妊産婦への支援 **3,849**

市内に住所を有する妊産婦を対象に、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、産前から産後1～2カ月間の母子への心身のケアや育児サポートを実施し、負担の軽減を図ります。

産前産後サポート事業《健康づくり課》

(13) 「功労感謝の会」への支援 **16,700**

地区、自治会又は行政区が主催する地域の高齢者（当該年度末で70歳以上）と地域住民が一堂に会して交流する「功労感謝の会」事業に対し、地域の活性化を目的に補助金を交付します。

「功労感謝の会」支援事業《市民協働課》

(14) 敬老祝い金の贈呈 **20,353**

多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者の方々に敬老祝い金を贈呈し、その長寿を祝福するとともに高齢者の福祉の増進を図ります。

○贈呈額：満77歳に達する方・満88歳に達する方 1万円

満100歳に達する方・満100歳以上の方 3万円

敬老事業《高齢福祉課》

(15) 老人クラブ活動への助成 **14,055**

老人クラブ及び老人クラブ連合会への活動助成を行うことにより、高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動を推進し、明るい長寿社会の実現と地域の活性化を図ります。

老人クラブ活動助成事業《高齢福祉課》

(16) ひとり暮らし高齢者等への支援 **11,464**

65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢世帯等を対象に、寝具類洗濯サービス、訪問理美容サービス、緊急通報システムの設置、日常生活用具の給付、はり・きゅう・あん摩・マッサージ指圧施術費の助成、乳製品等の配達等を行うことにより、ひとり暮らし高齢者等の生活不安や孤独感の解消を図ります。

ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業《高齢福祉課》

(17) 救急医療機関への支援 **170,101**

救急医療機関の機能強化を支援し、円滑な救急受け入れ体制を確保します。

病院群輪番制等負担金事業《健康づくり課》

教育文化

3. 健やかな市民と文化を育む“人”づくり

予算額（単位：千円）

（１）古河塾による学習環境の提供

新規

50,259

市内全小中学校において、通塾していない児童生徒を対象に放課後学習支援の場を提供します（小学校 1 時間、中学校 1 時間 30 分）。各学校では、配置された 2 名のサポートが児童生徒の指導にあたり、教材は各校に整備されたタブレットを活用し、ネット配信された問題を使用します。

古河塾推進事業《指導課》

（２）小学校 I C T 活用の推進

拡充

184,690

児童の学力向上を目的に I C T 機器（タブレット端末、大型ディスプレイ、実物投影機）を配置し、デジタル教科書等の教育用ソフトや投影機等を活用した授業を展開します。

○タブレット端末の配置（1,421台）

- ・モデル校 3 校（古河五小、上大野小、大和田小）には全児童に配置
- ・その他の 20 校には 40 台を配置
- ・中核となる教員用として 150 台を配置

小学校教育 I C T 整備事業《教育総務課》

（３）ティーム・ティーチング授業の充実

拡充

101,112

児童生徒一人ひとりの個人差や、習熟度に応じた指導の充実を図ることを目的に、現在、教育活動指導員を各小学校 1 名ずつ、中学校には 2 名ずつ配置し、ティーム・ティーチング授業を展開していますが、大規模校に指導員を追加配置し、学校規模に応じた指導員体制により基礎的・基本的な知識、技能の確実な習得を図ります。

○追加配置校

小学校：1 名ずつ追加（古河四小、古河六小、中央小、諸川小）

中学校：2 名ずつ追加（古河一中、古河二中、総和中、総和南中）

学校教育支援事業《指導課》

（４）理科教育の推進

12,386

市内の全小学校へ理科教育支援員 6 名を派遣し、理科の授業での実験・観察等を補佐します。

理科教育推進事業《指導課》

(5) 英語教育の推進

44,100

市内小中学校に14名のALTを配置し、英語の授業におけるコミュニケーション活動の充実を図ります。

英語教育推進事業《指導課》

(6) 英語圏体験学習の実施

6,013

中学生を対象に英語圏へ派遣し、ホームステイや学校訪問などの体験学習を通じて国際文化への理解を深め、豊かな国際感覚を持つ人材を育成します。

中学生英語圏派遣事業《教育総務課》

(7) 特色ある教育活動の展開

20,000

中学校の部活動について、活動をする上で必要となる備品の購入をはじめとする活動支援を実施します。

小中学校教育活動支援事業《教育総務課》

(8) 中等教育学校通学用バス運行の支援

2,800

県立古河中等教育学校に通学する生徒の交通不便解消を図るため、生徒数が少ない開校当初の3年間（平成25年度から平成27年度）、民間バス会社に補助を実施します。

教育総務事務事業《教育総務課》

(9) 遠距離登校児童の支援

2,400

自宅から指定小学校までの直線距離が3キロメートルを超える児童について、送迎車両による通学支援を実施します。

スクールバス運行事業《教育総務課》

(10) 小学校の改築

908,827

平成27年度の完成をめざし引き続き改築工事等を実施します。

○古河第一小学校 585,193千円

・屋内運動場改築工事（鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 1,294㎡）

・旧屋内運動場解体工事、外構工事

○古河第二小学校 323,634千円

・屋内運動場改築工事（鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 1,272㎡）

・旧屋内運動場解体工事

古河第一小学校改築事業《教育総務課》

古河第二小学校改築事業《教育総務課》

(11) 学校施設（吊り天井等）の耐震対策

362,686

地震発生時、落下により致命的な事故が起こりやすい屋内運動場の天井等の落下防止対策を実施します。

○実施箇所：三和北中学校屋内運動場、各中学校の武道場

中学校非構造部材耐震対策事業《教育総務課》

(12) 学習環境等の向上

拡充

929,238

○空調設備設置 764,448千円

夏の猛暑のなか、児童生徒の健康管理と学習意欲の向上を図るため、各小中学校の教室にエアコンを順次設置します。

・整備スケジュール

平成 27 年度 小学校 23 校（エアコン設備設置）、中学校 9 校（実施設計）

平成 28 年度 中学校 9 校（エアコン設備設置）

（参考）平成 26 年度 3 月補正予算分（事業費 410,621 千円）

空調設備設置工事 小学校 11 校（国補正予算に伴う予算の組み替え）

○散水栓設置 61,838 千円

学校の校庭について、強風時には砂埃となり、児童生徒への健康被害や近隣住宅への飛散等の影響が考えられることから、散水栓が未整備である古河地区及び三和地区の小学校へ順次設置します。平成 27 年度は、小学校 3 校に設置工事を行います。

・整備スケジュール

平成 26 年度 小学校 4 校（古河四小、諸川小、大和田小、八俣小）※設置完了

平成 27 年度 小学校 3 校（古河三小、七小、名崎小）

平成 28 年度 小学校 6 校（古河一小、古河二小、古河五小、古河六小、駒込小、仁連小）

○トイレの洋式化 102,952 千円

学校トイレの環境改善を図るため、和式便器の洋式化及びウォシュレット設置等の改修工事を順次実施します。

・整備スケジュール

平成 27 年度 小学校 1 校（諸川小）、中学校 4 校（古河一中、総和北中、三和北中、三和東中）

平成 28 年度 中学校 4 校（古河二中、古河三中、総和南中、三和中）

平成 29 年度 小学校 6 校（古河二小、古河四小、下大野小、上大野小、駒込小、八俣小）

平成 30 年度 小学校 6 校（古河五小、古河七小、下辺見小、中央小、大和田小、仁連小）

平成 31 年度 小学校 8 校（古河三小、釈迦小、上辺見小、小堤小、駒羽根小、西牛谷小、水海小、名崎小）

小学校環境整備事業《教育総務課》

中学校環境整備事業《教育総務課》

(13) 青少年ホーム代替施設の建設

新規

117,522

平成 28 年度の完成をめざして、老朽化した青少年ホームを解体し、新たに代替施設を建設します。平成 27 年度は解体工事、代替施設の基本・実施設計及び新築工事を実施します。

青少年ホーム代替施設建設事業《施設管理課》

(14) (仮称) 三和地域交流センターの建設

新規

116,419

平成 29 年度の完成をめざして、老朽化した三和公民館を解体し、新たに (仮称) 三和地域交流センターを建設します。平成 27 年度は解体工事、基本・実施設計を実施します。

(仮称) 三和地域交流センター建設事業《施設管理課》

(15) 中央運動公園テニスコート照明の改修

新規

59,223

施設利用者の安全を確保するために、中央運動公園内テニスコートの老朽化した照明灯の改修工事を実施します。また、LED 化することにより、照明電力量や CO₂ 排出量の削減を図ります。

中央運動公園整備事業《スポーツ振興課》

産業労働

4. 活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり

予算額（単位：千円）

（１）銘柄産地育成への支援

2,400

農協、生産者団体と協力しながら、産地のPRや銘柄農産物の加工による高付加価値化に向けての取り組みを支援します。

○銘柄産地品目：かぼちゃ、バラ、にんじん、サニーレタス、ニガウリ

○銘柄推進産地品目：ブロッコリー

青果物銘柄産地育成事業《農政課》

（２）地域農業担い手の育成

4,785

新規就農希望者や新規就農後3年以内に農業技術の向上を目指す農業者に対して、研修費を助成します。また、新規就農者に対して、就農意欲の喚起、農業経営の安定及び就農後の定着を図るため、青年就農給付金を給付します。

地域農業担い手育成事業《農政課》

（３）農業・農村資源（多面的機能）保全事業

拡充

19,908

農業・農村には、国土の保全、水源のかん養（水が自然にしみこむこと）、自然環境の保全、良好な景観の形成など、多面的な機能があります。こうした機能は農村だけでなく、都市住民の生活にも役立つもので、私たちの生活を支えています。こうした機能の維持・向上のための共同活動をする組織・団体に対して交付金を支払い、その活動を支援します。

土地改良費事務事業《土地改良課》

（４）市内空き店舗の活用

6,087

古河市内における商店街等の区域内の空き店舗を活用し、コミュニティ施設の整備や魅力ある店舗の出店（改造費補助・賃借料補助）、集客力向上のためのイベント事業に助成し、商店街の活性化を図ります。

市内空き店舗活用事業《商工政策課》

（５）企業誘致の推進

120,912

市の産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、指定地域（工業地域、工業専用地域ほか）に条件を満たす製造業の工場を立地した企業に「企業立地促進奨励金」交付し、企業進出の支援と関連企業の誘致に努めます。

企業誘致推進事業《商工政策課》

企業立地推進事業《商工政策課》

(6) 商工業団体への支援

拡充

32,900

参加者・店舗・主催者が一体となり、商業振興、定住化・少子化対策・地域振興を目的とするイベント「古河コン」の開催に対し、補助金を交付します。

また引き続き、市内商工業の振興のための事業を実施する古河市商工会、古河市工業会、古河商工会議所、古河市食品衛生協会各支部に対し、補助金を交付します。

商工業団体等助成事業《商工政策課》

(7) 企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の定住促進

新規

89,680

企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の転入者に対し、奨励金を交付します（交付要件あり）。

○転入者住宅取得奨励金 40万円

○市内業者施行奨励金 10万円

○区画整理事業保留地取得奨励金 50万円

若者・子育て世帯定住促進奨励事業《商工政策課》

(8) 商工・文化イベントの充実

16,500

市民参画型の楽しめる祭りをめざし、古河地域「よかんべまつり」、総和地域「関東ド・マンナカ祭り」、三和地域「さんさんまつり」を実施します。また、3月から4月に開催される「さくら祭り」に対しても助成を行います。これらの祭りの開催に際して、市内商工業者のPRを兼ねて物品販売等を行い、販売促進の拡充を図ります。

商工祭事業《商工政策課》

文化財保護事業《文化課》

(9) 観光イベントの充実

53,178

年間を通して花火大会などの様々なイベントや祭りを開催することにより、交流人口の拡大を図るとともに、市内商工業の活性化と観光の振興に寄与します。

○開催イベント：桃まつり、花火大会、盆踊り大会、菊まつり、提灯竿もみまつり など

イベント事業《観光交流課》

(10) 観光PRの充実

1,774

観光パンフレット等を作成し、道の駅や古河駅観光案内所等で配布することにより、古河市の豊かな自然や歴史文化を宣伝し、観光客の増加を図ります。

また、フィルムコミッションにおいては、映画・ドラマ等を通して広く古河市をPRします。

観光PR事業《観光交流課》

生活環境

5. 自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり

予算額（単位：千円）

（１）防犯カメラの設置

新規

10,436

3か年で防犯カメラ100基を整備する取組みの初年度として、小・中学校（33校）の通学路を中心に防犯カメラ40基を新たに設置し、防犯カメラを利用した適切な犯罪防止対策を行い、市民の安全で安心な生活の確保を図ります。

防犯対策事業《交通防犯課》

（２）防犯灯設備の充実

拡充

94,600

防犯灯の設置及び保守管理を行い、市内道路等の暗がり解消により、犯罪及び事故等の未然防止を図ります。

防犯灯整備事業《交通防犯課》

（３）環境保全学習の推進

1,132

自然環境の保全意識を高めるため、渡良瀬遊水地（緑豊かで広大なヨシ原が特徴であり、多数の動植物が生息・生育している）において、自然観察会（バードウォッチング）を開催します。

環境教育実践事業《環境課》

（４）市内幹線道路の環境美化

新規

10,000

市内の幹線道路の交差点を中心に、定期的な清掃活動を行い、ごみを捨てにくい環境づくりを進めます。

幹線道路環境美化作業《環境課》

（５）古河市斎場の環境整備

新規

149,947

斎場利用者の増加に対応するため、斎場南側駐車場を拡張するとともに、緩衝緑地帯を設け、施設周辺の生活環境に配慮した施設とします。平成27年度は用地取得を行います。

斎場管理事業《環境課》

（６）建築物アスベスト含有調査の推進

1,250

民間建築物のアスベスト含有未調査物件を対象に、調査に必要な費用を助成し、アスベスト含有調査を推進することにより、アスベスト問題の解消を図ります。

アスベスト含有調査事業《建築指導課》

(7) 公害対策

10,128

市では、公害の防止と対策のために、引き続き各種分析業務を行っていきます。

- 水質分析（主要河川及び排水路、都市下水路、地下水、工場排水など）
- 騒音測定分析（市内の幹線道路を31区間に分けて5年計画で実施）
- 悪臭分析

公害対策事業《環境課》

(8) 防災行政無線の整備

拡充

99,395

大雨・洪水・暴風などの災害時に周辺住民に対して防災や避難に関する情報を伝達するため、昨年に引き続き、河川沿岸の公共施設にデジタル防災行政無線（屋外拡声子局）の設置等を行うとともに、古河市役所三和庁舎にある親局のデジタル化工事を行います。

防災行政無線等維持管理事業《危機管理防災課》

(9) 都市下水路の整備

17,693

雨水による市街地への浸水被害を解消することを目的とし、磯部都市下水路（十間通り新幹線高架下～国道125号）の整備を行います。

都市下水路整備事業《下水道課》

(10) 住宅・宅地・建築物耐震改修の促進

拡充

6,846

木造住宅耐震診断及び耐震改修の訪問相談を行い、耐震改修に必要な費用を助成し、市民の費用負担の軽減を図ることにより、耐震改修を促進し、安全なまちづくりを推進します。また、平成27年度は大規模盛土造成地の変動予測調査も行います。

住宅・建築物耐震改修促進事業《建築指導課》

宅地耐震化推進事業《建築指導課》

都市基盤

6. 未来を見据えた都市の“基盤”づくり

予算額（単位：千円）

（１）愛・あい号の運行

49,326

市民の日常生活を支える「地域の足」として、総和・三和地区にデマンド交通「愛・あい号」を運行します。利用者からの要望等を参考に、運行形態等の見直しを検討し、利便性の高い運行をめざします。

デマンド交通運行事業《総務課》

（２）ぐるりん号の運行

29,382

市民の日常生活を支える「地域の足」として、古河地区に循環バス「ぐるりん号」を運行します。利用者からの要望等を参考に、平成27年4月1日より運行ルート及び運行ダイヤの一部を改正し、利便性の高い運行をめざします。

循環バス運行事業《総務課》

（３）道路環境の管理

拡充

488,588

生活道路の舗装及び道路構造物の整備や維持管理を行うことにより、市民生活の安全の確保に努めます。

道路補修事業《道路整備課》

（４）道路の新設改良

拡充

797,159

地域住民の利便性と安全性の向上を図るため、未改良の生活道路等の整備を行います。

道路新設改良事業《道路整備課》

（５）筑西幹線道路西側延伸の整備

101,398

筑西幹線道路の西側延伸として新4号国道から県道境間々田線までを整備することにより、総和・三和地区を連絡する道路網を強化し、国道125号線や十間通り等の東西軸の慢性的な渋滞の緩和を図ります。平成27年度は用地調査・用地取得を主に行います。

筑西幹線道路整備事業《都市計画課》

（６）新4号国道アクセス道路の整備

211,088

野木町との協力のもと、三和地区北部と野木町（野木駅・総合公園）とのアクセスとして本路線を整備し、地域住民の生活環境の向上を図ります。

新4号国道アクセス道路整備事業《都市計画課》

(7) 都市計画道路（桜町上辺見線）の整備

127,527

国道4号と古河駅東部区画整理事業とを結ぶ道路を整備することにより、古河赤十字病院への緊急搬送路の確保や今後の古河駅東部区画整理事業の事業推進に伴う東西道路の渋滞の解消を図ります。平成27年度は用地取得を主に進めます。

桜町上辺見線南町工区整備事業《都市計画課》

(8) 公園の整備

96,277

市民のレクリエーションの場の創出を図るため、公園の整備を進めます。

平成27年度は、旧三和メディカルセンター跡地の公園整備、諸川商店街のポケットパーク整備に向けた設計等を行います。また、ネーブルパークの管理倉庫設置、古河総合公園の花桃植栽工事を行います。

公園整備事業《都市計画課》

ネーブルパーク整備事業《都市計画課》

総合公園整備事業《都市計画課》

(9) 安全安心な公園の管理

183,413

市内約240ヶ所の公園について、遊具等公園施設の保守点検及び修繕、樹木剪定・除草、老木の樹木診断等を行うことにより、憩いの場として安全・安心で快適な空間を提供します。

公園管理事業《都市計画課》